

製品名: MDH2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85775**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

抗原情報

遺伝子名	MDH2
別名	MDH; MOR1; M-MDH; EIEE51; MGC:3559
遺伝子 ID	4191.0
SwissProt ID	P40926
免疫原	ヒト MDH2 の合成ペプチド

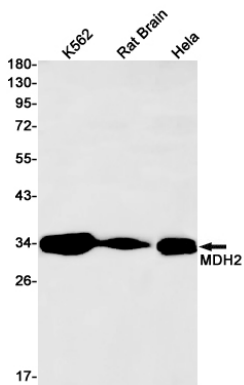
背景

リンゴ酸脱水素酵素は、クエン酸回路における NAD/NADH 補因子系を利用して、リンゴ酸からオキサロ酢酸への可逆的な酸化を触

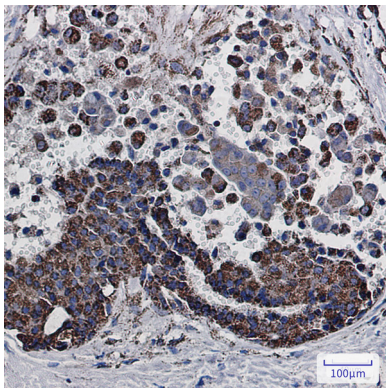
媒する。この遺伝子によってコードされるタンパク質はミトコンドリアに局在し、細胞質とミトコンドリア間の代謝協調において機能するリンゴ酸-アスパラギン酸シャトルにおいて極めて重要な役割を果たすと考えられる。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されている。

研究分野

画像データ



MDH2 抗体を使用した、K562、ラット脳、Hela 溶解物中の MDH2 のウエスタンブロット分析。



MDH2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。